

広報 しんじゅく

〒160-8484 新宿区歌舞伎町1-4-1 ☎(3209)1111 ホームページ <http://www.city.shinjuku.tokyo.jp/>

今号の主な内容	
2・3面	区の財政状況をお知らせします
4・5面	あなたのまちの民生委員・児童委員
6面	心身障害者(児)手当・年金
8面	年末年始 資源・ごみ収集のお知らせ
8面	学童クラブ利用児童募集

20年度から

メタボリックシンドロームに 着目した健診が始まります

健康への関心が高まっているにもかかわらず、脳卒中や心筋梗塞などの生活習慣病は増え続け、現在、死亡原因の約6割を占めています。生活習慣病の発病に大きく影響しているのが「メタボリックシンドローム(内臓脂肪症候群)」です。

こうした状況を改善するため、20年度から、新たにメタボリックシンドロームに着目した「特定健診・特定保健指導」を実施します。今回はその概要をお知らせします。

【問合せ】特定健診・特定保健指導に関すること…国保年金課庶務係(本庁舎4階) ☎(5273)4207、生活習慣病・メタボリックシンドロームに関すること…お近くの保健センターへ。

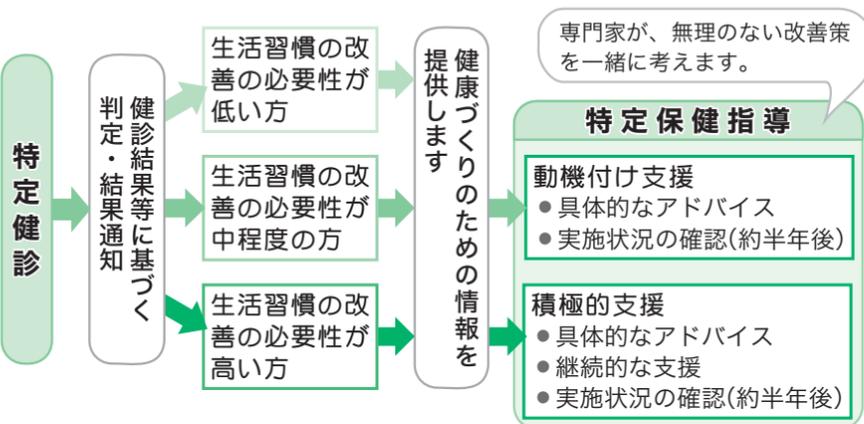
● 特定健診・特定保健指導の概要

新たに実施する特定健診・特定保健指導は国の医療制度改革の一環で、医療保険者が実施主体(※)となり、効果的な健診・指導の仕組みを作るものです。原則として40歳～74歳の方が対象となります。

現在、区では、関係機関と連携しながら、実施に向けた準備を進めています。健診・指導の通知方法・場所等詳しくは、後日、「広報しんじゅく」等でお知らせします。

※国民健康保険に加入している方は新宿区が実施主体となります。

● 特定健診・特定保健指導の流れ



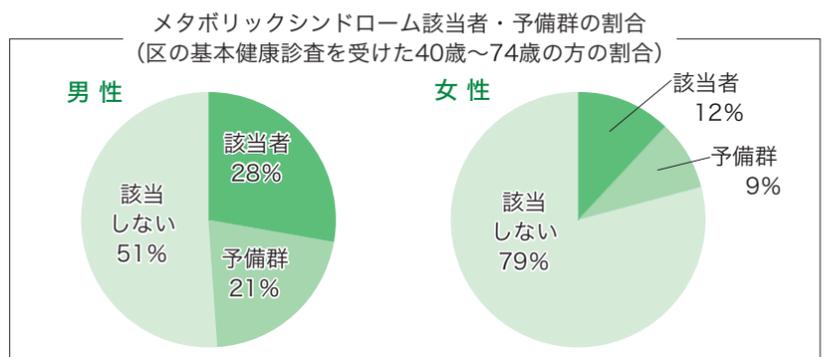
メタボリックシンドロームとは

メタボリックシンドロームは、運動不足・食べ過ぎ・喫煙など不健康な生活習慣によって、「内臓脂肪がたまること(内臓脂肪型肥満)」に加えて、「高血糖」「高血圧」「脂質異常」のうち2つ以上が合わさった状態をいいます。



この状態を放置していると動脈硬化が進行し、心臓病や脳卒中など命にかかわる病気を引き起こす危険性が高まります。

18年度に区の基本健康診査を受けた方(40歳～74歳)のうち、男性の2人に1人、女性の5人に1人がメタボリックシンドロームに該当するか予備群になっています。



「広報しんじゅく」特集号を発行

「資源・ごみ新分別特集号」を、本日、12月15日の新聞に折り込んでいます。

【問合せ】リサイクル清掃課 事業計画係(本庁舎7階) ☎(5273)3318へ。

歌舞伎町シネシティ広場 イベントの中止

「広報しんじゅく」11月25日号1面でご案内した年末シネシティフェア「星屑の町」関連イベント(12月18日(火)午後1時から)は、主催者の都合で中止になりました。

【問合せ】歌舞伎町商店街振興組合 ☎(3209)9291へ。

地震がくる前に 子どものためにできること

・防災とボランティア週間 シンポジウム

【日時】1月19日(土)午前10時～12時(9時30分開場)

【会場】四谷区民ホール(内藤町87)

【対象】区内在住・在勤・在学の方、200名

【パネリスト】▼蒲生真実(株風讀社ひよこクラブ編集長)、▼横矢真理(子どもの危険回避研究所理事長)、▼亀井昭彦(新宿区小学校PTA連合会会長)、▼中山弘子(新宿区長)。手話通訳があります。

※起震車による地震体験、防災用品の展示も実施します。

【費用】無料

【申込み】電話で危機管理課 事業推進係(本庁舎4階) ☎(5273)3874へ。先着順。新宿区ホームページの危機管理課のページからも申し込めます。託児あり(要予約)。

新宿まち・人・しごと

早いもので今年も半月を残すのみとなりました。年々月日のたつのを早く感じるとともに、子どもの頃の1年の長さも待ち遠しかった正月への心算しくげわしかつた歳末の日々が思い浮かびます。皆さんにとって今年はどうな年だったでしょうか。▼今年、新宿区は新宿の地で生まれ育ち、その生涯を閉じた国民的文豪「夏目漱石生誕140年」を記念して、新宿歴史博物館での特別展をはじめ、シンポジウム、子どもたちの感想文・感想画の募集、映画会や区民の皆さんとの協働事業など年間を通して多彩な事業を展開してきました。晩年の9年間を過ごした早稲田南町の「漱石山房」跡の漱石公園のリニューアルにも取り組み、漱石を敬愛する皆さんの交流拠点も整備されます。▼漱石は、時代を超えて多くの人々に読み継がれる名作を残し、そして近代日本にとって忘れることのできない知識人、文明批評家でもあったと思います。そうした漱石の足跡が区内には多く残されています。▼漱石晩年の随筆集「硝子戸の中」は私も好きな作品ですが、漱石とともに新宿のまちの記憶をたどることが出来ます。師走、明治の巨人漱石が描いた新宿のまちや時代・人々について思いを馳せてはいかがでしょうか。

区長 **中山 弘子** ひろこ